

技術評価報告書

申 込 者： 昭和産業グループ
代表会社 昭和産業株式会社 代表取締役社長 小林 正樹
茨城県筑西市小川 1911 番地
(昭和産業グループは昭和産業株式会社を含めた 14 社で構成される。)

技術名称： 異形鉄線溶接金網 CD メッシュ重ね継手・定着工法 (2026 年)

当法人「建築構造技術審議委員会」において慎重審議の結果、2025 年 12 月 15 日付けの技術評価書 (SABTEC 評価 20-03R1) の通り、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、本技術は妥当なものであると判断されたことを報告する。

2025 年 12 月 15 日

一 般 社 団 法 人
建 築 構 造 技 術 支 援 機 構
代 表 理 事 益 尾 潔

建築構造技術審議委員会

委員長	窪 田 敏 行	近畿大学	名誉教授
副委員長	田 才 晃	横浜国立大学	名誉教授
委 員	磯 雅 人	福井大学大学院工学研究科	教授
"	岸 本 一 蔵	近畿大学建築学部建築学科	教授
"	田 中 剛	神戸大学大学院工学研究科	教授
"	都 祭 弘 幸	福山大学工学部建築学科	教授
"	三 谷 勲	神戸大学	名誉教授



技術評価書

申込者： 昭和産業グループ
代表会社 昭和産業株式会社 代表取締役社長 小林 正樹
茨城県筑西市小川 1911 番地
(昭和産業グループは昭和産業株式会社を含めた 14 社で構成される。)

技術名称： 異形鉄線溶接金網 CD メッシュ重ね継手・定着工法(2026 年)

技術概要： CD メッシュは、昭和産業グループ 14 社が製造する JIS G 3551 による異形鉄線溶接金網であり、直交横筋の支圧効果を期待せず、異形鉄筋と同様の重ね継手・定着工法として用いられる。
本工法は、GBRC 性能証明 第 01-08 号(2001 年 9 月 4 日)を取得以来、多数の製造実績を有し、軽量コンクリート 1 種を用いた CD メッシュの重ね継手・定着実験を基に、異形鉄線溶接金網 CD メッシュ重ね継手・定着工法設計・施工要領書(2021 年)は、適用範囲に軽量コンクリート 1 種を用いた CD メッシュを追加し、SABTEC 評価 20-03(2021 年 3 月 26 日)を取得している。また、SABTEC 評価 20-03R1(2025 年 12 月 15 日)では、昭和産業グループとして中村螺子(株)を追加し、浪速金網(株)を削除している。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2025 年 12 月 15 日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
建築構造技術審議委員会
委員長 窪田 敏行

記

- 評価方法： 申込者提出の下記の資料を基に、技術評価を行った。
異形鉄線溶接金網 CD メッシュ重ね継手・定着工法(2026 年)
CD メッシュ溶接説明資料および関連資料
これらの資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。
- 評価内容： CD メッシュ重ね継手部および定着部は、長期荷重時に使用上支障となるひび割れを起こさず、SD295 異形鉄筋の短期許容引張応力度までに付着破壊および定着破壊を起こさないと判断される。

技術評価内容

申込者

昭和産業グループ

代表会社 昭和産業株式会社 代表取締役社長 小林 正樹
茨城県筑西市小川 1911 番地
(昭和産業グループは昭和産業株式会社を含めた 14 社で構成される。)

技術名称

異形鉄線溶接金網 CD メッシュ重ね継手・定着工法(2026 年)

適用範囲

- (1) 適用部位 鉄筋コンクリート床スラブおよび合成スラブ
- (2) 材 料

異形鉄線溶接金網 JIS G 3551 に適合する CD メッシュ

規格引張強さ：490N/mm² 以上

1 箇所当たりの溶接点せん断強さ：250N/mm² 以上

(普通コンクリート) 設計基準強度：18N/mm² 以上、60 N/mm² 以下

ただし、CD メッシュは、CD5, CD5.5, CD6, CD7, CD8, CD9, CD10 の 7 種類とする。

(軽量コンクリート 1 種) 設計基準強度：18N/mm² 以上、36 N/mm² 以下

ただし、CD メッシュは、CD6, CD7, CD8, CD9, CD10 の 5 種類とする。

技術評価の主な審議事項

昭和産業グループの追加会社(中村螺子(株))が製造する CD メッシュの妥当性

技術評価に際して行われた実験等の概要

昭和産業グループの追加会社(中村螺子(株))が製造する CD メッシュ(CD6)の品質管理要領書(2026 年)を確認し、CD メッシュ(CD6)の検知試験を行い、CD メッシュ(CD6)の溶接条件を検証するとともに、溶接条件基準値で製造した CD メッシュ(CD6)について確認試験を行っている。

技術評価の経過

2025 年 12 月 15 日開催の第 69 回建築構造技術審議委員会では、申込者提出の技術資料について慎重に審議を行い、内容を検討した結果、妥当なものであると判断した。

以上